

地域特性の分析

～将来的なビジョン作成に向けて～



甲府市まちづくり部地域デザイン課

i-都市交流会議2022

1

1.地域デザイン課の紹介

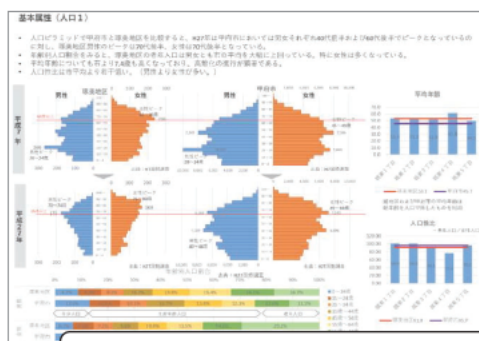
「まちづくり」という大きな視点で
理想の暮らし方や地域のあるべき姿＝ビジョンを
官民協働で描き、共有し、実行していく！

地域ごとの未来を見据えたまちづくりを進めるため、まずは
各地域の特色や既存ストック、資源等の調査・分析をしています。

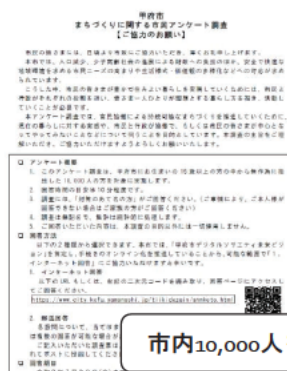
例えば

○小学校地区単位でのカルテ作成

○市民アンケートの実施



国勢調査や都市計画基礎調査等のデータを整理。



市内10,000人を対象に実施

i-都市交流会議2022

2

2.地区カルテ用データの可視化の検討①

地区カルテ用のデータを3Dで表示

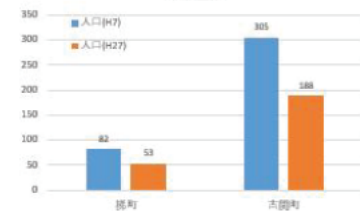
基本属性（人口2）

- 人口増減を見ると、市全体より上九地区の人口減少が急激に進んでいる。
- 地区全体で以前から高齢化は進みつつあり、H27には市全体よりも18%程度高い状態となっている。上九地区と甲府市の高齢化率の増加（ともに10ポイント程度の増加）。
- 人口密度は現状・将来共に20人/haをまわっており、地区面積が広いが人口は極度に少ないため、真実は1人/haを下回っている状況である。

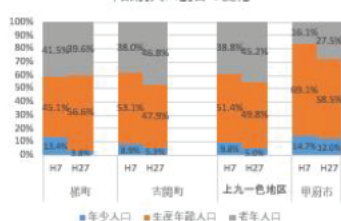
上九一色 (H7) 387人 (H27) 241人 (-0.38)

甲府市 (H7) 201,124人 (H27) 193,125人 (-0.04)

人口増減



年齢別人口割合の変化



人口密度（現状・将来）

2015年



2040年



補注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus、Google Earth を使用

地区カルテに人口密度を掲載予定だったため、都市構造可視化サイトを使って掲載。

該当地区を丸で囲んで強調した部分のアップ。

3.地区カルテ用データの可視化の検討②

地域ごとの整理・分析されたデータを比較する際に、数値だけでなく分かりやすく表示できないか（共感が必須）

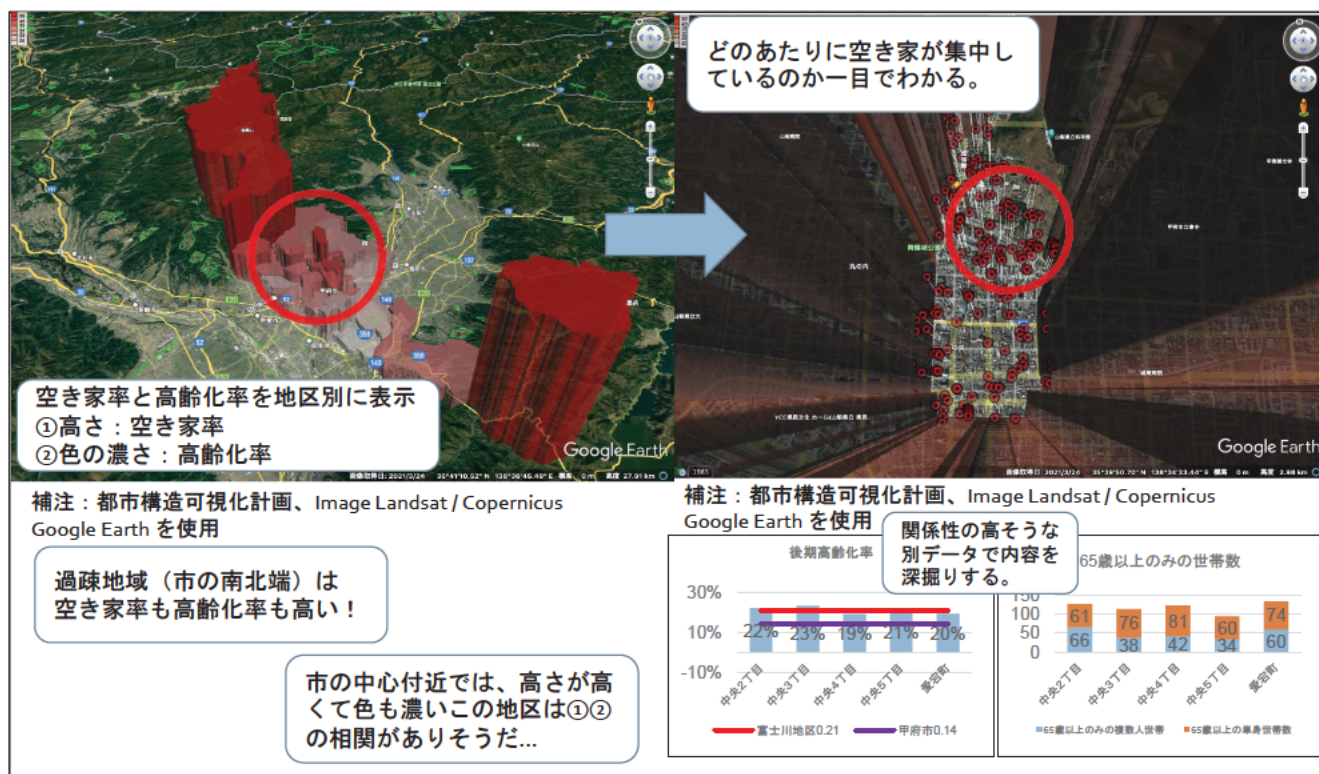
地区名	空き家率	空き家数	高齢化率 65歳以上	高齢化率 75歳以上
富士川地区	8.85%	144	41.7%	24.6%
朝日地区	6.21%	144	38.9%	23.5%
相生地区	5.81%	104	39.2%	22.7%
新紺屋地区	4.75%	123	32.0%	18.6%
春日地区	3.05%	64	32.1%	18.2%
琢美地区	5.69%	127	40.0%	21.5%
里垣地区	5.11%	157	29.0%	15.4%
東地区	3.80%	99	34.2%	20.3%
玉諸地区	3.16%	127	20.9%	10.8%
甲運地区	2.80%	66	28.9%	15.8%
石田地区	5.00%	157	31.6%	18.2%
穴切地区	4.46%	116	33.8%	19.7%
貢川地区	3.05%	112	27.8%	16.0%
池田地区	2.56%	74	23.0%	12.4%
新田地区	1.63%	13	38.5%	21.4%

地区名	空き家率	空き家数	高齢化率 65歳以上	高齢化率 75歳以上
千代田・能泉・宮本地区	12.36%	100	50.2%	24.8%
北新地区	6.25%	126	32.4%	19.8%
羽黒地区	4.85%	164	36.2%	19.3%
相川地区	3.09%	134	33.5%	19.2%
千塚地区	2.80%	108	34.2%	20.4%
上九一色地区	20.60%	46	53.6%	32.6%
湯田地区	6.11%	115	40.1%	23.4%
伊勢地区	5.38%	126	38.6%	23.2%
大国地区	5.25%	68	22.2%	10.0%
国母地区	3.05%	113	29.6%	15.6%
中道地区	2.72%	66	32.6%	17.1%
住吉地区	2.29%	54	32.0%	18.0%
山城地区	2.14%	109	20.8%	10.4%
大里地区	1.18%	52	18.9%	8.2%

※空き家数・空き家率はH29甲府市空き家実態調査、高齢化率は福祉保健部総務課データ（令和3年度交付し地区別人口動態表）を参照。

4.地区カルテ用データの可視化の検討③

「空き家率」と「高齢化率（65歳以上）」のデータを可視化



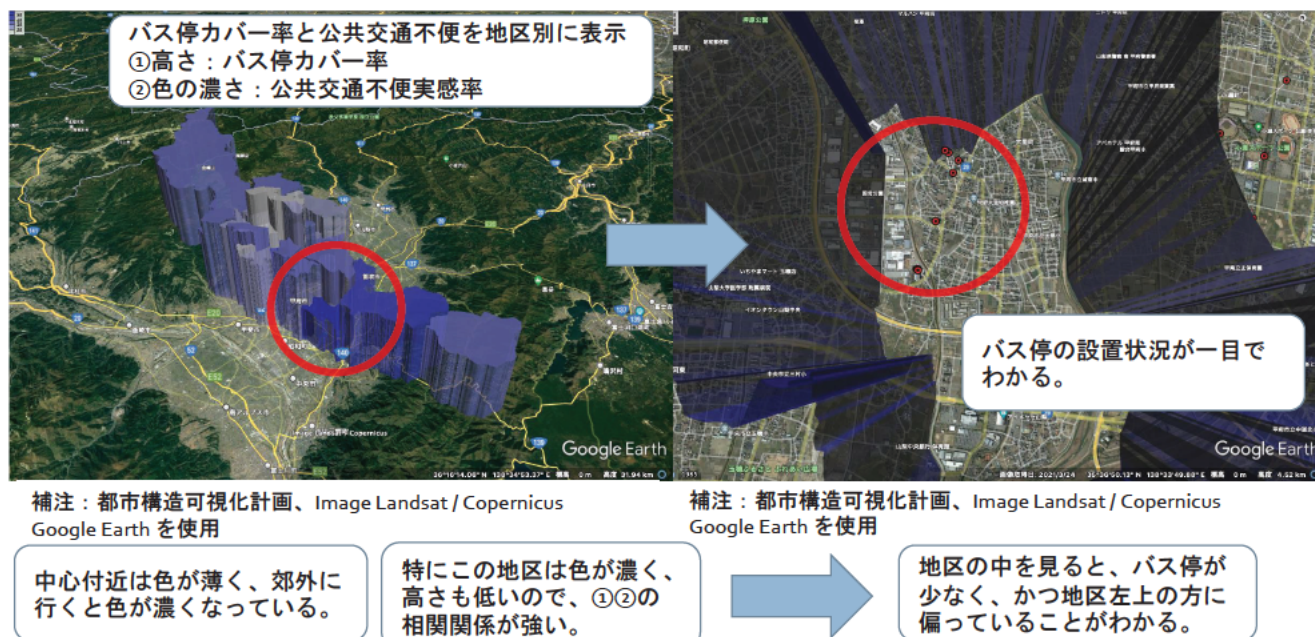
i-都市交流会議2022

5

5.アンケートデータの可視化①

アンケート分析結果もわかりやすく表示できないか

バス停カバー率と公共交通不便（実感度）を可視化



i-都市交流会議2022

6

6. アンケートデータの可視化②

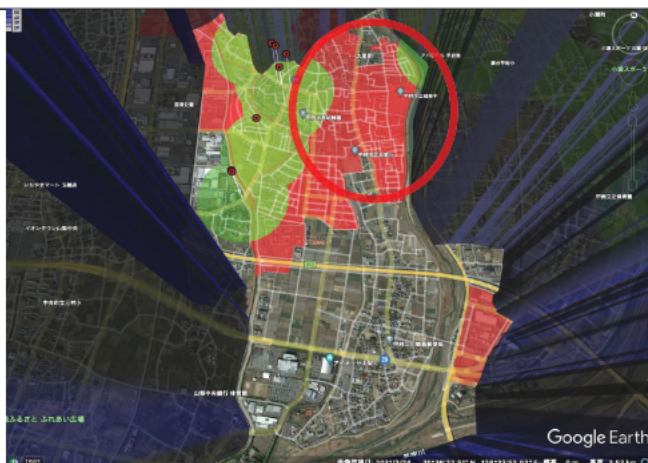
さらに関連データをもとに分析



補注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus
Google Earth を使用

地区内で人口密度が40人/ha以上の部分を色付け。
(H29都市計画基礎調査の町丁目ごとの人口密度データ)

この地区は地区の上の方に住人が片寄っていることがわかる。また、バス停も色が濃い地域（人口密度がより高い地域）付近に設置されているようだが・・・



補注：都市構造可視化計画、Image Landsat / Copernicus
Google Earth を使用

バス停から300mの範囲を別の色にすると、人口密度が高い地域でもカバーできていない地域があることがわかる。ここにもバス路線が通れば、実感度が改善される可能性があるかと推測される。

山梨県甲府市

都市の紹介



御岳昇仙峡



温泉



富士山・夜景



甲府城



武田信玄公
500歳



こうふPR大使
武田ハルくん



宝石



ワイン